

美山学だより 2学期

美山小学校では「美山学」と題して美山の歴史・文化・人・物・事を教材として学び、表現力やコミュニケーション能力を高める学習に取り組んでいます！

南丹市立美山小学校

Tel : 75-0017 FAX : 75-0106 Mail : miyama-es@kyoto-be.ne.jp

平成 30 年 11 月 22 日発行 NO.11

まち探検！もっと行きたいな！

2年生 9月20日、生活科の学習で、それぞれの施設やそこで働いておられる方々が自分たちとどう関わっているのか、どんなことをお世話になっているのか知ることをめあてに、学校のまわりの町たんけんをしました。5つのグループに分かれ



て、美山支所、給食センター、バス事務所、図書館、駐在所に行きました。訪問先では、施設の説明、仕事の内容をていねいに説明していただき、また2年生の質問にもていねいに答えていただきました。この学習を通して、地域の方々への感謝の気持ちを持ち、今度は自分たちが地域に対して何かできることがないかを考えていきます。



「稲刈り・脱穀・販売まで」美山の農業について知ろう

今年も、武田義史さんの田んぼをお借りして、5月に田植えをしました。今年は、猛暑に、台風と厳しい天候が続きましたが、稲はすくすく育ち収穫の時期を迎えました。

台風の影響で予定より遅れましたが、9月11日に稲刈りを、10月3日に脱穀をしました。稲刈りの時は、川勝政義さん、武田美和子さんにご指導いただき実施しました。5年生は、刈ることは何とかできましたが、わらでくくる作業には苦労しました。脱穀前には、台風24号の強風により稲木が倒れるという想定外のことが起こりましたが、無事収穫することができました。精米したお米を、11月3日のふるさとまつりで販売したところ、多くの地域の皆さんに買って頂き、あっという間に完売しました。ありがとうございました。



米づくり 5年生



美山のお宝

3年生

伝統文化 3本立て！！！！ 棚野千両祭り・からす田楽・道相神社例祭

3年生は美山町内で传承されている3つのお祭りについて学習しました。諏訪神社(鶴ヶ岡)の棚野千両祭りと川上神社(大野榎原)のからす田楽、道相神社(平屋・宮島)の秋の例祭です。

鶴ヶ岡の棚野千両祭りは15年に一度の中祭り、30年に一度の大祭があり、それぞれ5つの地域による奉納芸を一日かけて奉納され、昔で言う千両もの大金がかかるお祭りであることから千両祭りと呼ばれています。

宮島、平屋の道相神社例祭はお神輿や神楽などの長い行列が特徴です。実際の映像を見せて頂きながら、お祭りの迫力を感じることができました。

大野のからす田楽は、榎原の集落で行われており、規模は小さいですが京都府の無形文化財第1号に指定されており、約600年もの間受け継がれてきた伝統ある行事です。見慣れない「ピンザサラ」と呼ばれる木製の楽器を使い、その名の通り、からすの真似をして太鼓や笛に合わせて行われ、見た目にも特徴的です。

どのお祭りも、これまで長く受け継がれてきた伝統に、地域の方が誇りを持っておられ、今後も継承していくための様々な苦勞や工夫があることが分かりました。子どもたちも、どうしたら守っていくことができるのか考えます。



わくわく ~美山町について知ろう~

6年生

1学期に続いて、平屋「ふらっと美山」「知井ショップ21」等のお店調べに行きました。どこにどんなお店があり、何を売っているのか自分たちで写真を撮って、見て、聞いてさわって体験しました。研究発表の授業では、それぞれ5つの地区に住むお友達や、お店、施設の場所などを、双六をしながら学習しました。



Heat up! ヒートアップ美山 ~美山を熱くする人~

6年生

6年生は総合的な学習の中で、5つのグループに別れて5つの地区から、それぞれの分野で活躍され、美山を熱くしている人たちに話を聞いてきました。鶴ヶ岡は旅館を営まれている「観光・旅館業」神田和行さん、平屋は「農業」東智也さん、宮島は「イベント司会業」芦田千里さん、大野は「地域のお店」大野屋の徳田利春さん、知井は「かやぶき職人」岡祐紀さんです。さまざまな分野で活躍されている方たちのお話をうかがい、子どもたちなりにまとめたことを、今度は他のグループの児童の前で発表し、ゲストティーチャーも交えてさらに交流し学びを深めました。さらに、かやぶき保存会会長の中野忠樹さんにもお越しいただき、かやぶき民家や集落のお話を伺い、その構造や歴史的背景についても、教えて頂きました。それぞれの立場で活躍される地域の皆さんの活躍に触れて、実際に自分もそんな仕事をしてみたい、美山を熱くしたいと感じた子どもたちも多かったようです。



水路

～美山の田んぼにみずをひく～

4年生

4年生は昔の人びとの力と知恵が集まった用水路について学習しました。今年は鶴ヶ岡高野から宮島方面へ続く水路と、知井の下から中へ、中から下流への水路についてそれぞれ2つのグループに分かれて見学に行きました。

高野の水路は、以前に読み聞かせボランティア赤ずきんさんの創作紙芝居で「お菊物語」を聞かせていただいたことがあり、そのお話に登場する菊水いねを赤ずきんの上田さんと一緒に実際に見学しました。菊水いねの取り入れ口から、水路をたどって、途中で、川の上をまたいで越えるところもありました。台風など



度重なる雨の後で水路の水が増えていましたが、それでも子どもたちは実際に近くへ行って見てみたいということで、濡れながらも、水路がどのようにしてひかれていて、どのような思いで下流の人びとのもとへ届けられているのかを感じながら、田んぼにたどり着くまで水路に沿って歩きました。

同じく、知井のグループも実際に川の取水堰からたどって水路を歩き、知井振興会会長の長野さん案内のもと、下から中へ、



中から北へさらに下流へと流れる水路について教えていただきました。今年は台風の影響が多く、見学に行った際にも水路が土砂で埋もれてしまっており、その土砂を取り除く作業の大変なことが想像されました。

どちらのグループも昔の人びとの苦労や工夫、上流の人と下流の人とが水を通してつながっていること、その思いなどを感じることができました。



あき 1年生

の、あそび

「美山の春の遊び、夏の遊び」に続く実りたっぷり「秋の遊び」です。ボランティアグループでも活躍されている坂本さんと細尾さんにお世話になり、秋らしく木の実やススキを使った遊びを教えてくださいました。グループに分かれて、かやぶき屋根の原料にもなっているススキを使ったフクロウを作りました。まだ乾燥していないススキの穂を束ねて丸い形を作るのです



が、1年生の小さな手では難しく、みんなで協力しながら、先生方にも手伝っていただいて苦労して仕上げました。大きさも形もまちまちですが、画用紙で目や口を付けると、それぞれの個性が光るかわいいフクロウたちが並びました。1週間ほどすると穂が出て、びっくりとよく肥えたフクロウに成長してさらに可愛らしく、教室の窓の上のほうからいつも子どもたちを見守ってくれています。



ホームステイ

5年生

9月25日からの1泊で、美山町内9つのご家庭にお世話になり、5年生児童がホームステイ体験をしました。それぞれ2~3名のグループに分かれて滞在させていただき、体験メニューはホストファミリーごとに、その内容はさまざまです。1泊2日を通して、子どもたちはお世話になるご家庭の皆さんと、コミュニケーションをはかりながら、農作業体験や、調理体験、お裁縫に、かやぶき屋根の葺き替え作業見学、赤ちゃんのお世話まで、家族の一員のようにして過ごしました。これらの体験を通して、美山の豊かな資源に触れ、また自分たちから進んでコミュニケーションをとることの大切さなどを体験し、ひとまわりもふたまわりも大きくなって帰ってきました。



Web

5・6年生

交流 今年の第2弾は海士町の児童たちの提案から

島根県海士町の福井小学校・海士小学校とのWeb交流、今年の第2弾は海士町の児童たちの発表を受けて、美山の児童たちが質問や意見を交流するかたちで行いました。海士町では子ども

も議会に提案する事案や、学校をよくするための取組について発表してくれました。自分たちの住む地域から遠く離れた人たちへ、想いや様子を伝えようとする事、また理解しようとする事は、同じ地域の人たち同士よりもはるかにコミュニケーション能力が必要です。受け取る側の子どもたちは、海の近くに住む海士町の学校や生活を想像しながら、画面の向こうの子どもたちのさまざまな提案に耳を傾けます。Web交流を通して、お互いに刺激を受けながら成長している姿を感じ取れます。



ご案内

学習発表会 12月1日(土)8:45~11:10

発表内容(発表順)

- ①3年「美山お宝とうげ Part2」
- ②1年「おはなしたまてばこ」
- ③2年「レッツゴー町たんけん」
- ④4年「水が命をつなぐ～過去・今・未来～」
- ⑤5年「美山のキラリをしょうかいます！ギョッ！」
- ⑥6年「Help！～All Starsの救出大作戦～」
- ⑦全校合唱「大切なもの」

学習発表会では美山学で学んできたことがたくさん出てきます。地域の皆さまぜひ見に来てください！

HPで美山学の他、日々の子どもの様子も随時更新中です！ぜひご覧ください。

